

名句のパロディ その7

- 物言えば唇寒し秋の風 (芭蕉)  
～ 物言えばお縄頂戴怖い国
- 秋の夜や古き書読む奈良法師 (蕪村)  
～ 秋の夜やラインやりとり夜更けまで
- 来て見れば山ばかりなる五合庵 (良寛)  
～ 来て見れば人ばかりです渋谷街
- 倒るれば倒れるままの庭の草 (良寛)  
～ 倒れたらもうおしまいだ我が命
- かたつむりそろそろ登れ富士の山 (一茶)  
～ お互いにゆっくり行こう冥途へは